



建設技術総合センター

施設ごあんない

安全研修から「次代の交通インフラを拓く」へ

～確かな安全・安心のために～



実物通りの駅と線路を中心とした屋外研修フィールドは、より実践的な研修を可能とします。

鉄建は、昭和19年の創業以来半世紀以上にわたり、鉄道を中心とした交通インフラ工事に対し、確かな技術と安全の確保で、事業者さまはもちろん、交通インフラをご利用になるお客さまや地域の皆さまに大きく貢献してまいりました。特に平成19年には、「鉄道工事のトップランナー」の地位を確固たるものにすべく、千葉県成田市の当社研究施設に本格的な鉄道設備（実習線）を建設し、実体験型の安全研修を開始しました。

このような設備は建設会社としては初の試みであります。

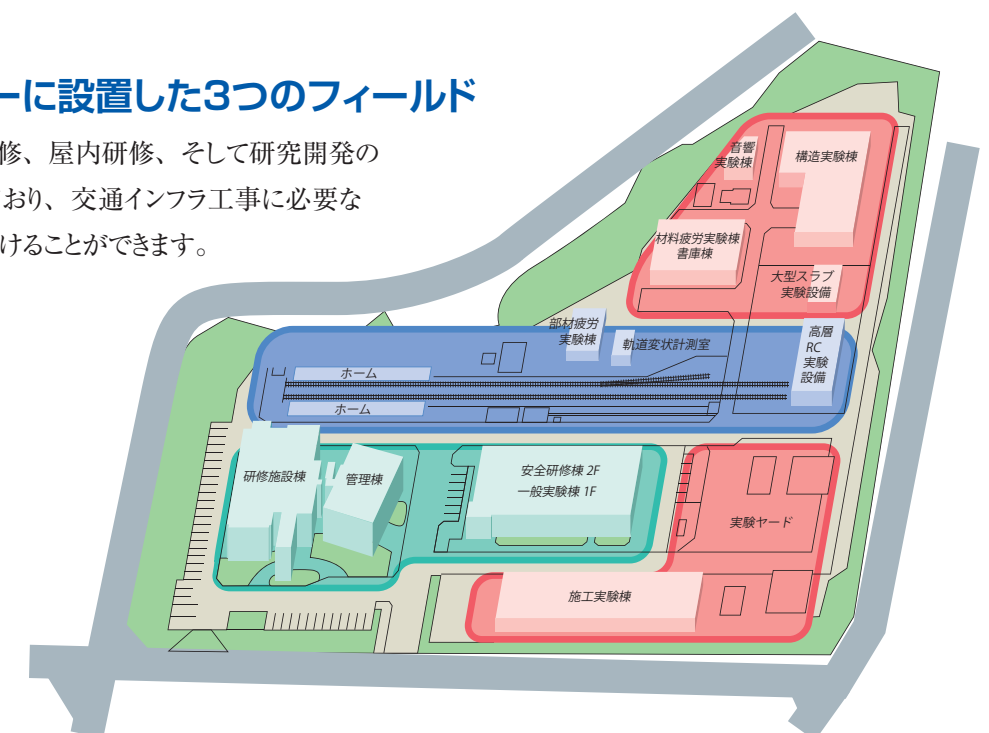
平成21年には、新たに研修施設棟を配置し、「次代の交通インフラを拓く」研修センターに生まれ変わりました。

屋外研修、屋内研修、研究開発という3つのフィールドを活かし、安全研修はもちろん、土木・建築技術の伝承に向けて、社内はもとより社外の技術者育成にも貢献しています。

建設技術総合センターに設置した3つのフィールド

建設技術総合センターは屋外研修、屋内研修、そして研究開発の3つのフィールドにより構成されており、交通インフラ工事に必要な「安全」「技術」「経験」を身につけることができます。

- 屋外研修フィールド
- 屋内研修フィールド
- 研究開発フィールド



信用と技術の
鉄 建

施設ごあんない

■ 屋外研修フィールド ■

研修センターの中核施設となる屋外研修フィールドは、全長150mの実習線を中心に駅や踏切、工事桁（簡易橋梁）などを設置しています。

これらを活用することで、普段は目にすることがない軌道のトラブルなどを実際に体験することができます。

また安全研修に留まらず、実習線を施工実験の場としても活用することができます。



■ 屋内研修フィールド ■

実体験型研修をより効果的にサポートするのが屋内研修フィールドです。我々が経験してきた事故を風化させずに後世に語り継ぐ「事故の情報展示館」をはじめとし、最大50名までが一度に集合研修可能な研修棟を設置しています。また、床や壁材の仕様に変化をつけ、伝播音の違いを体感できる設備や体験用スプリンクラーを設置した研修施設棟は、住環境の創造に大きな役割を果たす建築技術者の育成に役立っています。



■ 研究開発フィールド ■

鉄建の成田における研究開発の歴史は昭和55年に遡り、これまでの間、各種実験設備や実験棟を充実させてきました。建設技術総合センターとなった現在も、最先端の技術・商品開発を行いお客さまのニーズにお応えしています。

また、ものづくりの第一線で活躍する技術者の指導を行ったり、品質・性能の評価設備を備えていることから、公共機関等から数多くの研究を委託され、最新の技術開発に役立っています。



研修施設ではこのようなことが学べます

実物に触れて学ぶことができます

過去の事故から学ぶことができます

夜間にも研修することができます



CPD 登録が可能です!

国際化の進展や国内の雇用情勢の変化等から、技術者が継続した教育を受けその技術力を維持・向上していく CPD は、その必要性をさらに増しています。その中で当社建設技術総合センターの教育課程も、CPD 登録が可能です。

●この資料に関するお問い合わせ・研修のご用命は●

鉄建建設株式会社 建設技術総合センター 研修センター
(千葉県認定職業訓練校)

〒286-0825 千葉県成田市新泉9-1 野毛平工業団地内 Tel: 0476-36-2375

鉄建建設株式会社

www.tekken.co.jp



※成田駅より車で20分

建設技術総合センター 研修センター

敷地面積 29,730㎡

主な施設

- 【屋外】 軌道（複線150m）
分岐器（1組）
ホーム（盛土式、桁式）
HEP&JES施工状況再現設備
軌道変状再現設備
工事桁
踏切
線路覆工
電車線
信号設備
- 【屋内】 事故の情報展示館
研修棟
研修施設棟
安全コーナー 他

所在地 〒286-0825 千葉県成田市新泉9-1
野毛平工業団地内

Tel. 0476 (36) 2375 Fax. 0476 (36) 2377

屋外

研修フィールド

建設会社研修施設として初! 全長 150m の複線線路を配置

- 1 実物を見て、触れて学ぶ鉄道技術者としての必要知識
- 2 再現された線路トラブルを通して磨く感性
- 3 施工実験の場としての活用で拓く、次代の交通インフラ

実物を見て、触れて学ぶ鉄道技術者としての必要知識

ホームエリア

- ホームの代表的な構造形式である盛土式、桁式ホームを40mにわたり設置し、工事施工におけるノウハウや安全管理上の注意点を学ぶことができます。
- ホーム上の安全設備（列車非常停止警報装置、転落検知マット）などを設置し、緊急時における対応について学ぶことができます。



踏切・線路覆工エリア

- 踏切道、線路覆工およびそれに付随する各種信号設備や、交差する道路に埋設されたライフライン（水道管・電力等）などを設置し、踏切周りの施工に必要な知識を習得できます。
- 踏切に付帯した安全設備（踏切障害物検知装置、非常ボタン）などを設置し、緊急時における対応について学ぶことができます。



工事状況再現エリア

- 線路に近接して施工する際に必要な防護設備を設置し、その役割やメンテナンスに必要なノウハウを学ぶことができます。
- 線路下にアンダーパスを設置する工法「HEP&JES工法」について、施工状況を忠実に再現しており、普段は目にする事のできない線路下の状況を実際に見ることができます。



再現された線路トラブルを通して磨く感性

軌道変状再現エリア

- 線路陥没等のトラブル再現設備により、異常時の状況を体感する事ができます。
- 線路トラブルを早期に発見する計測装置を設置し、数値管理や異常時対応のノウハウを習得できます。



施工実験の場としての活用で拓く、次代の交通インフラ

施工実験例 (PC工事桁架設)

- 実習線は、単なる研修設備に留まることなく、研究開発に伴う実証実験に活用可能です。
- 近年の実績では、短時間で架け替え可能な「本設利用PC工事桁」の実証実験を、本番さながらに行いました。



屋外研修フィールド全景

